

巻き込み事故再現で交通事故の怖さを実感

川西小学校で「交通安全のつどい」を実施

主催	加古川市（協力機関……兵庫県トラック協会東播支部、加古川警察署、加古川自家用自動車協会、加古川交通安全協会）
日時	令和7年5月2日（金）午前10時50分～午前11時50分
場所	川西小学校
内容	川西小学校の1～6年生を対象に、交通安全教室を行います。運動場に模擬交差点を作成し、実際にトラックを走行させ、歩行者に見立てた段ボールを使用する巻き込み事故実験や交通安全講話などを行います。交通事故の悲惨さ、いのちの大切さを実感してもらい、交通ルールを守り交通事故に遭わないよう啓発します。 【プログラム】①開会 ②白バイ・パトカーの入場 ③警察官による講話 ④大型トラックによる巻き込み事故実験 ⑤閉会 ※雨天の場合は、体育館にて交通安全講習にプログラム変更。 （ 恒例 ）
対象（参加者）	【対象者】川西小学校1～6年生（約280名） 【参加者】兵庫県トラック協会東播支部、加古川警察署、加古川自家用自動車協会、加古川交通安全協会
定員	—
参加費	—
申込先・方法	—

目的・背景 その他	加古川警察署管内における令和6年の交通事故による小学生の負傷者は29名でした。仮想体験を通して、交通事故の悲惨さ、命の大切さを実感し、悲惨な事故をなくすため、交通安全のつどいを実施します。
市ホームページ	掲載予定（5月中下旬頃）
広報かこがわ	掲載しない